

平成27年度定時総会 決算・外部理事の選任を承認

～今年度は会員の拡大に取り組む～

はなやま

公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 大場 尚文

昭和40年1月創刊された「はなやま」の題号は、芸術協会の創設が、昭和39年5月9日に宮城県花山村(現栗原市花山)の湖畔亭で開かれた会合で決まったことにちなんで付けられました。

平成27年度の公益社団法人宮城県芸術協会定時総会は、5月30日午後3時10分から、仙台市青葉区の仙台市福祉プラザふれあいホールで開かれた。

開会に先立ち、司会の中塚仁執行理事が、会員総数2,130人、出席者数109人、委任状提出者数1,190人で、本総会が成立することを確認。

まず、大場尚文理事長が「公益社団法人化から3年目を迎えた当協会は、これまで培ってきた事業内容を土台に、協会の持続的経営を見据えながら、更なる展開が求められる。そのためには各事業の質的向上と、県民に対して開かれた協会であることを一層意識したい。何よりも人との出会いと情熱・誠実さを大切にしたい」と挨拶した。続いて議長に吉田利弘絵画部部長、議事録署名人に大場理事長と雫石隆子執行理事を選出した。

最初に報告として執行部から

「平成27年度事業計画及び収支予算について」、「法人運営規程の改正について」議案書にもとづき説明が行われた。

平成27年度の事業計画と収支予算については、今年度は芸術協会の総力をあげて正会員及び賛助会員の拡大に取り組むこととし、それを前提とした予算としているとの説明があった。また法人運営規程の改正については、本法人の事業運営の客観性担保や外部とのさらなる連携強化の観点から、外部役員選任の必要性が述べられた。

議事では、平成26年度事業報告及び収支決算が会計監査報告を含めて承認された。また、法人運営規定改正に伴う外部理事の選任については、河北新報社専務取締役の加藤伊佐雄氏とカメイ株式会社代表取締役社長の亀井文行氏が賛成多数で承認。任期を現任理事の任期満了までと確認し、定時総会を閉会した。

定時総会記念講演

大震災と 芸術の底力



文芸部 水戸一志 氏

今年3月、仙台市で国連主催の「第3回国連防災世界会議」が開かれた。この折、情報提供の取材にかかわった経験から、震災や防災と芸術との関係に触れてみたい。

「芸術家自身が驚いた芸術の底力」は、ほかにも随所に見られた。その底力を実感したのは私たちだけではなく、お役所の方々もそうだった。一時は打ち

多くの芸術家も役所の職員も、最近まで防災と芸術との関係については否定的だったように思われる。ところが、東日本

大震災を経験したことで、震災時の芸術の力を再認識したという芸術家の方々が多かった。例えば、ピアニストの小山実

大震災を経験したことで、震災時の芸術の力を再認識したという芸術家の方々が多かった。例えば、ピアニストの小山実

のめされた芸術家たちが「自分にもできることはないか」と腰を上げ、人々を勇気づけ、樂しませたのであった。

稚恵さんは防災会議のPRイベントで「震災の直後は無力感にとらわれたが、復興コンサートでの聴衆の反応に、前よりももっと音楽が好きになった」と話してくれた。巨大画を制作す

災害現場でのお握りのように、音楽やダンスや美術には被災者の求めを満たす力があったのである。この事実が証明されたことは、防災会議の大きな副産物であったと言える。

70人が晴れの栄誉祝う

河北文化賞受賞祝賀会

当協会の第64回(平成26年度)河北文化賞受賞祝賀会が5月30日、平成27年度定時総会終了後の午後6時から、仙台市青葉区のホテルグランテラス仙台国分町で開かれた。

祝賀会には会員約70人が出席。文芸部の原田勇男氏作詞、洋楽部の吉川和夫氏作曲による芸協50周年記念讃歌「しなやかな心で」の曲で開会し、大場尚文理事長が挨拶を述べた。引き

続き、早坂貞彦名誉会員(前理事長)の音頭で乾杯し、歓談に移った。冒頭、写真部の落合英俊会員が河北文化賞受賞と芸協創立50周年を記念して撮影、編集した約13分のDVD映像が放映され、盛んな拍手を浴びた。

テールスピーチでは、かつて役員を務めた2人の名誉会員が、これまでの芸協の歴史の中でのエピソードを披露するなど、50年間の功績が評価されての晴れの栄誉を喜び

合った。最後に雫石隆子執行理事が閉会の辞を述べ、午後8時過ぎ祝賀の余韻に浸りながら散会した。

河北文化賞は、公益財団法人河北文化事業団、河北新報社、公益財団法人東北放送文化事業団に、東北放送の4者が主催。東北の学術、芸術、体育、産業、社会活動の分野で貢献した団体、個人を表彰している。



多くの会員で賑わった和気あいの祝賀会

来場者最高記録を更新 第19回杜の都大茶会



当協会と河北新報社は、宮城県の花道愛好者とともに、一般の方々に広く茶道の魅力をアピールし、本県における茶の湯文化の継承発展に寄与することを目的に、平成8年から毎年杜の都大茶会を開催している。

本年度の第19回大茶会は、6月13日(土)、14日(日)に仙台市青葉区の勾当台公園で開かれ、当協会茶道部加盟の13流派が抹茶と煎茶のお点前を披露した。開会式には来賓として村井嘉浩知事も列席し、茶会に華を添えた(写真)。

14日午前には小雨というあいにくの天候であったが、多くの市民が押しかけ、2日間の来場者は9,339人で、過去最高だった昨年を254人上回り、2年連続で記録を更新した。

来場者のなかには観光客や外国人もみられ、茶道の作法や茶道具の説明に耳を傾け、お茶や趣を凝らしたお菓子をいただきたい、野点を楽しんだ。

絵画部スケッチ研修会 趣深い農村風景を写生

今年の絵画部スケッチ研修会は5月16、17日、1泊2日の日程で福島県南会津町にある前沢・水引集落を訪ねた。同集落は江戸時代の宿場の面影として、茅葺家屋が住民生活の場に現存し、趣深い農村風景を各所に残す絶好のスケッチポイント。参加者は33名であった。今回は場所を2日間で両集落

の2カ所だけに絞り、たっぷりスケッチの時間を確保。2日間には好天が続く、新緑の風薫る5月の天候のもと参加者はスケッチを大いに堪能した。

宿泊先の会津高原ホテルの夕食時には、親睦を深める懇親会を開催。また、2日目の昼食時には恒例の「作品鑑賞会」を行い、互いの研修の成果を鑑賞し



趣深い農村風景をスケッチする参加者

ながら更に交流を深めた。両日も充実した日程となり、参加者には意義ある研修会となった。



世界遺産アユタヤの樹根に埋もれた仏頭

11/16~21 タイ芸術との交流と古都巡り 研修旅行

平成27年度の研修旅行は「タイ芸術との交流と古都巡り」として、11月16日から21日まで、タイの首都バンコクとアユタヤ・チェンマイの古都、タイ北部のチェンライを訪ねる旅となった。国境を越えてミャンマーの少数民族自由市場まで足を延ばすため、今回は昨年より1日多い5泊6日の日程となる。平成23年にも同様の研修旅行

が企画されたが、現地の洪水のため出発直前に中止となった。「微笑みの国」として親しまれ、風土、文化ともに日本との共通点が多いと言われているタイ。チェンマイでは現地芸術協会との交流を予定するほか、チェンマイの伝統工芸である日傘やタイシルクの工房見学、チェンライ近郊にある少数民族の家庭訪問、アユタヤ王朝の世界遺産、バンコクの仏教寺院巡りなど、見どころの多い旅となる。日程や参加費用などは同封のパンフレットのとおりで、申し込みは、10月9日(金)まで。

文学散歩

会津の文学碑と人物探訪

9/29~30

今年の文学散歩は「会津の文学碑と人物探訪」をテーマに郡山、会津、喜多方、裏磐梯などを巡り、文学の他に歴史や美術に関心のある会員も楽しめる充実した内容である。

お勧めのポイントを幾つか紹介すると、まず鶴ヶ城三の丸下の文学碑。「戊辰の三絶」の一つ「北越潜行の詩」を刻む秋月悌次郎詩碑や万葉集東歌歌碑。万葉集の歌碑は、秩父宮親王勢津子妃の見事な行書体で書かれている。美術に関しては斎藤清の彩色版画、諸橋近代美術館ではダリの作品。この美術館の庭が素晴らしく散策もおすすめである。東山温泉の宿泊先では竹下夢二の掛軸や歌碑などが見られる。柳津にある会津きつての名刹圓蔵寺の福満虚空蔵菩薩を参拝



鶴ヶ城三の丸下の万葉集歌碑

し、撫で牛に触り、名物の粟餠頭を食べるという口福もある。友人知人を誘い合わせての多くの参加を期待している。詳しくは同封の募集要項のとおりで、申し込みは9月15日(火)まで。

東北・北海道芸文協 山形県芸文美術館で 交流写真展を開催

東北六県と北海道の各芸術文化団体からなる東北・北海道芸術文化団体協議会の平成27年度総会が6月12日、山形県芸文美術館で行われた。議事は「平成26年度事業報告及び収支決算について」「平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)について」の2点。情報交換では「各団体の会費規程」「交流展の内容」について話し合われた。来年度から幹事が青森県に移行する。また、本年度の交流事業として「東北・北海道交流写真展『ふるさと風土記Ⅱ』」が6月12日から17日まで、同美術館で開催された。今年は七道県から



交流写真展「ふるさと風土記Ⅱ」会場

合わせて86点の展出があり、本協会からは写真部会員による10点の作品を展覧した。来場者は400人を超え、盛況のうちに終了した。

課題は会員の拡大 第1回部長会議

7月3日、当協会会議室で本年度第1回部長会議が開かれた。会議の効率化のため、従来の芸術祭実行委員会と部長会議が一本化され、今回がその最初の会議。理事長、執行理事、各部の部長・副部長計23人が出席し、第52回宮城県芸術祭や各部における正会員の拡大について熱心な話し合いが持たれた。第52回宮城県芸術祭については、事業内容の協議のほか、今回からピアノコンクールが芸術祭事業に加わることで、これまでの閉会式を表彰式とし、閉会式は行わないことが確認された。本年度の芸協の重要課題である「正会員の拡大」については、部ごとの会員数の推移や年齢構成などのデータにもとづいて今後部内で十分に討議し、12月4日の第2回部長会議で各部の考え方を報告し合うことになった。

平成 26 年度 事業報告

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

事業種別	事業名	期 日	会 場	入場者数	作品点数・出演者等
展示関係事業	華道展	9/26～10/1	せんだいメディアテーク5F	2,905名	前期37点・後期36点
	写真展・写真公募展	9/26～10/1	せんだいメディアテーク5F	2,533名	会員展93点・公募展入選94点
	彫刻展・彫刻公募展	9/26～10/1	せんだいメディアテーク6F	2,689名	会員18点・招待1点・公募8点
	書道展	10/3～10/8	せんだいメディアテーク5・6F	3,703名	308点
	工芸展	10/3～10/8	せんだいメディアテーク5F	1,742名	68点
	絵画展（公募の部）	9/26～10/1	せんだいメディアテーク6F	2,689名	139点
	絵画展（会員展）	10/10～10/15	せんだいメディアテーク5・6F	6,387名	日本画 47点・洋画161点
演奏関係事業	絵画展（役員50周年企画コーナー）	10/10～10/15	せんだいメディアテーク5F	3,192名	87点
	長唄演奏会	10/19	仙台市民会館	205名	34名
文芸関係事業	音楽会	11/8	日立システムズホール仙台	529名	18名
	文学散歩	9/30・10/1	新潟方面	-	参加者41名
	「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	-	-	800部発行
茶 会	文芸祭	10/25	東京エレクトロンホール宮城	119名	文芸公募：一般466点・ジュニア117点
	茶会	10/12・19・26	輪王寺	3,983名	-
巡回展事業	工芸展柴田展	10/29～11/3	しばたの郷土館	420名	50点
	絵画・書道展東松島展	11/6～10	東松島市コミュニティーセンター	423名	81点

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

事業種別	事業名	期 日	会 場	入場者数	作品点数・出演者等																																																							
鑑賞機会提供事業	宮城県民会館・宮城県芸術協会 50周年記念連携展覧会 第51回芸術祭絵画展受賞者展 20代新鋭作家による絵画展	12/19～12/25	東京エレクトロンホール宮城	772名	受賞者21点・招待24点 [共催：公益財団法人宮城県文化振興財団]																																																							
	宮城県芸術協会絵画部門 「選ばれし作品の軌跡」 - 平成の芸術祭賞13年 -	2/3～3/15	カメイ美術館	1,697名	22点 [共催：カメイ美術館]																																																							
	ミュージックフェスタ2014inかみまち	2/15	中新田パッパホール	518名	当協会出演会員10名 [共催：中新田パッパホール・公益財団法人宮城県文化振興財団]																																																							
伝統文化体験事業	第18回杜の都大茶会	5/24・25	勾当台公園	9,085名	-																																																							
人材育成事業	県民との美術交流・ギャラリートーク	10/11	せんだいメディアテーク5F・6F	58名	講師：北折 整氏・森 敏美 氏																																																							
	第35回ピアノコンクール	予選2/15	仙台市戦災復興記念館	75名	初級30・中級35・上級：10																																																							
		本選3/25	宮城野区文化センター	29名	初級：11・中級13・上級5																																																							
	書道部による県内小中学校への 講師派遣事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期 日</th> <th>学 校</th> <th>対象学年</th> <th>担当会員</th> <th>期 日</th> <th>学 校</th> <th>対象学年</th> <th>担当会員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11/6</td> <td>富谷町立富谷中学校</td> <td>1年</td> <td>中塚 仁</td> <td>12/12</td> <td>仙台市立袋原中学校</td> <td>2年</td> <td>小日向慶可</td> </tr> <tr> <td>11/11</td> <td>南三陸町戸倉小学校</td> <td>3-6年</td> <td>池田 徳雲</td> <td>12/15</td> <td>気仙沼市立松岩小学校</td> <td>6年</td> <td>武山 櫻子</td> </tr> <tr> <td>11/26</td> <td>加美町立宮崎小学校</td> <td>3年</td> <td>千葉 華紅</td> <td>12/16</td> <td>石巻市立和潤小学校</td> <td>4年</td> <td>米倉 馨香</td> </tr> <tr> <td>11/28・12/1</td> <td>多賀城市立多賀城中学校</td> <td>1年</td> <td>建部 恭子</td> <td>12/17</td> <td>利府町立利府小学校</td> <td>3年</td> <td>池田 徳雲</td> </tr> <tr> <td>12/5</td> <td>登米市立登米中学校</td> <td>1-3年</td> <td>太田 蓮紅</td> <td>12/18</td> <td>栗原市立花山小学校</td> <td>3-6年</td> <td>佐々木一峰</td> </tr> <tr> <td>12/9</td> <td>山元町立山下第一小学校</td> <td>6年</td> <td>後藤 大峰</td> <td>12/25</td> <td>古川学園中学校</td> <td>2-3年</td> <td>千葉 華紅</td> </tr> </tbody> </table>	期 日	学 校	対象学年	担当会員	期 日	学 校	対象学年	担当会員	11/6	富谷町立富谷中学校	1年	中塚 仁	12/12	仙台市立袋原中学校	2年	小日向慶可	11/11	南三陸町戸倉小学校	3-6年	池田 徳雲	12/15	気仙沼市立松岩小学校	6年	武山 櫻子	11/26	加美町立宮崎小学校	3年	千葉 華紅	12/16	石巻市立和潤小学校	4年	米倉 馨香	11/28・12/1	多賀城市立多賀城中学校	1年	建部 恭子	12/17	利府町立利府小学校	3年	池田 徳雲	12/5	登米市立登米中学校	1-3年	太田 蓮紅	12/18	栗原市立花山小学校	3-6年	佐々木一峰	12/9	山元町立山下第一小学校	6年	後藤 大峰	12/25	古川学園中学校	2-3年	千葉 華紅		
期 日	学 校	対象学年	担当会員	期 日	学 校	対象学年	担当会員																																																					
11/6	富谷町立富谷中学校	1年	中塚 仁	12/12	仙台市立袋原中学校	2年	小日向慶可																																																					
11/11	南三陸町戸倉小学校	3-6年	池田 徳雲	12/15	気仙沼市立松岩小学校	6年	武山 櫻子																																																					
11/26	加美町立宮崎小学校	3年	千葉 華紅	12/16	石巻市立和潤小学校	4年	米倉 馨香																																																					
11/28・12/1	多賀城市立多賀城中学校	1年	建部 恭子	12/17	利府町立利府小学校	3年	池田 徳雲																																																					
12/5	登米市立登米中学校	1-3年	太田 蓮紅	12/18	栗原市立花山小学校	3-6年	佐々木一峰																																																					
12/9	山元町立山下第一小学校	6年	後藤 大峰	12/25	古川学園中学校	2-3年	千葉 華紅																																																					
後援事業	「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」など、本協会に本年度申請された89件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付による賞状や賞品等の提供に応じた。																																																											

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

事業種別	事業名	期 日	会 場	入場者数	作品点数・出演者等
東北・北海道芸術文化 団体協議会交流事業	東北・北海道交流写真展	6/23～6/30	山形県芸文美術館	312名	75点（内本協会：10点）
仙台・大邱国際 芸術交流事業	芸術協会創立50周年記念公演 「半世紀の精華」	11/1	東京エレクトロンホール宮城	885名	大邱訪問団16名 [共催：公益財団法人宮城県文化振興財団]

(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

事業種別	事業名	期 日	会 場	入場者数	備考
会 員 研 修	講演会 講師：銭谷 眞美 氏	5/13	ホテルメトロポリタン仙台	270名	創立50周年記念講演 「文化芸術の力と東北」
	平成25年度大邱公演報告会	5/31	仙台市福祉プラザ	124名	報告者：大場 尚文 執行理事
	絵画部スケッチ研修会	5/17・18	岩手・御所湖、秋田・角館	32名	
	書道部研修会 講師：楠 文夫 氏	10/5	東京エレクトロンホール宮城	125名	「硯のはなし」
発 行	第41回研修旅行	11/18～11/22	インドネシア・バリ島	22名	
	機関紙「はなやま」発行	年間4回発行：200号（4/30）・201号（7/31）・202号（10/31）・203号（1/31）			各2,550部発行
	「会員名簿」発行	7/31	2,400部 ※役員改選に伴う発刊		
	「宮城県芸術協会五十周年史」刊行	11/5	2,500部		

平成27年度正味財産増減計算書 [決算]

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	2,500	2,500	0	0	2,500
受取入会金	0	0	0	620,000	620,000	0	620,000	1,240,000
受取会費	0	0	0	11,045,000	11,045,000	0	10,785,000	21,830,000
事業収益	4,501,650	765,000	1,454,000	0	6,720,650	7,779,000	0	14,499,650
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	12,872,800	0	0	0	12,872,800	0	0	12,872,800
受取寄附金	95,000	0	0	0	95,000	0	0	95,000
雑収益	135,000	0	90,000	1,020,499	1,245,499	220,000	0	1,465,499
経常収益計	17,604,450	765,000	1,544,000	12,687,999	32,601,449	7,999,000	11,405,000	52,005,449
(2) 経常費用								
事業費	27,114,682	3,357,130	5,128,951	241,950	35,842,713	13,597,605	0	49,440,318
管理費	0	0	0	0	0	0	9,226,202	9,226,202
経常費用計	27,114,682	3,357,130	5,128,951	241,950	35,842,713	13,597,605	9,226,202	58,666,520
当期経常増減額	△9,510,232	△2,592,130	△3,584,951	12,446,049	△3,241,264	△5,598,605	2,178,798	△6,661,071
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	9,842,126	2,571,180	3,584,951	△19,428,464	△3,430,207	5,609,005	△2,178,798	0
当期一般正味財産増減額	331,894	△20,950	0	△6,982,415	△6,671,471	10,400	0	△6,661,071
一般正味財産期首残高	0	20,950	0	52,854,157	52,875,107	0	0	52,875,107
一般正味財産期末残高	331,894	0	0	45,871,742	46,203,636	10,400	0	46,214,036
II 指定正味財産増減の部								
寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0
一般指定財産への振替額	30,000	0	0	0	30,000	0	0	30,000
当期指定正味財産増減額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
指定正味財産期首残高	250,000	0	0	0	250,000	0	0	250,000
指定正味財産期末残高	220,000	0	0	0	220,000	0	0	220,000
III 正味財産期末残高	551,894	0	0	0	46,423,636	10,400	0	46,434,036

a : 公益目的事業経常費用計	b : 当年度年間全体経常費用	公益目的事業比率 (a / b)
35,842,713	58,666,520	61%



会場に設けられた茶席でくつろぐ来場者

恒例となった河北新報社など主催の「全国やきものフェア」が今年も7月16日～20日に夢メッセみやぎで開催された。器でつながる日本のこころ、をテーマに全国120の窯元・作家が作品を展示販売した。茶器の展示も多いことから、会場には茶席コーナーが設けられ、当協会茶道部の5流派が茶道の普及啓発のためこれに協力。遠州流茶道、武者小路千家、宗徧流、表千家、裏千家が日替わりで呈茶し、多くのやきものファンが買物がてらにお菓子と抹茶でくつろぎの一刻を楽しんだ。

第4回全国やきものフェア
買物がくつろぎの一刻
茶道部5流派が呈茶

事務局日誌

会務報告

- 4・17 監事会
- 平成26年度事業報告及び会計監査4・20 理事会
- 平成26年度事業報告及び決算の承認について
- 理事候補者の推薦について
- 平成27年度定時総会の開催について
- 5・30 平成27年度定時総会
- 平成26年度事業報告及び決算の承認について
- 6・19 第52回宮城県芸術祭委員会
- 第52回宮城県芸術祭について
- 7・3 部長会議
- 第52回宮城県芸術祭について
- 各部における正会員の拡大について

仙台市戦災復興記念館
 ☆第4回全国やきものフェア in みやぎ
 7月16日〜20日
 夢メッセみやぎ

せんだいメディアアテーク
 ☆第34回新芸術東北展
 9月4日〜9日
 せんだいメディアアテーク
 ☆歌のアルバム4
 9月5日
 宮城野区文化センター
 ☆2015仙台オペラ協会創立40周年記念公演「カルメン」
 9月5日〜6日
 東京エレクトロンホール宮城
 ☆2015日洋会東北支部展
 9月11日〜16日
 せんだいメディアアテーク
 ☆チルコロ・マンドリニステイコ・フロラ創立50周年記念事業第50回記念定期演奏会
 第一夜 9月23日
 日立システムズホール仙台
 第二夜 9月25日
 イズミティイ21
 ☆歌いつがれゆく日本の歌
 9月27日
 日立システムズホール仙台

後援

- ☆第45回宮城書芸院書展
 5月20日〜24日
 大崎市民ギャラリー緒絶の館
- ☆チルコロ・マンドリニステイコ・フロラ第29回ソロとアンサンブルの集い
 6月27日
 宮城野区文化センター
- ☆しばたの郷土館企画展「彫刻家及川茂展」〜創作への思い〜
 7月4日〜8月30日
 しばたの郷土館
- ☆第6回青画会日本画展
 7月7日〜12日
 東北電力グリーンプラザ
- ☆第26回宮城示現会美里展
 7月12日〜19日
 美里町近代文学館
- ☆たのしい夏の音楽会
 7月15日

☆玄武社展併催第7回玄穹社学生展
 8月7日〜10日
 せんだいメディアアテーク

◇第78回河北美術展
 (日本画)▽一力次郎賞 中郷圭子▽東北電力賞 石川ちづ江(洋画)▽河北賞 岩澤誠一▽JAL賞 佐々木康夫▽青森県知事賞 鈴木千津▽山形県知事賞 菅原さち子▽福島県知事賞 阿部好江▽一力次郎賞 松宮榮典▽渋谷栄太郎賞 谷地森真理子

会員の入賞・入選など

☆第51回宮城水彩展栗原展
 8月28日〜9月6日
 栗原文化会館

☆第39回宮城新協美術展
 9月3日〜8日
 東京エレクトロンホール宮城

☆第53回新洋会展
 9月4日〜9日

◇第23回日本陶芸展
 ▽準大賞・日本陶芸展賞 市岡泰

◇第29回日洋展
 ▽会員推挙 佐藤宏子
 ▽会友推挙 宮城紘子
 ▽入選 池田ミチ、大槻弘子、小野寺静子、千田秀子、林しづこ、三浦良己、渡辺雄二

けやきの譜

今年には戦後70年の節目の年。終戦末期の仙台空襲は、1945年7月10日の未明で約1400人が犠牲となったが、平和ニッポンの今日では、まさに昔日の感である▼安倍晋三首相は、いわゆる安保法案を国会に上程。7月16日には衆院通過にこぎつけた。法案に反対の市民のデモが連日、国会周辺などで展開されたが、55年前の「60年安保闘争」と二重写しの状況に見えた▼われわれの学生時代は、60年安保と重なる。国会周辺のデモにも何度も通ったが、運動は実らなかった。それにしても、法案を採択した衆院の特別委員会で、プラカードが室内に林立した寒々とした光景はいつたい何だったのか▼安保法案衆院通過の16日、お笑い芸人・又吉直樹さんの「火花」が見事、芥川賞を受賞した。5月下旬、北上市の日本現代詩歌文学館で又吉さんの講演を聴く機会があったが、太宰をはじめとする文学への造詣の深さには感心させられた。難しいかもしれないが、ぜひ、芸人と小説家の二足のワラジを履いてほしいものだ。(恂)

<p>◇第55回東日本伝統工芸展 (陶芸)▽入選 岩井純、橋本昌彦 (木竹)▽岩手県知事賞 本間潔、▽入選 渡邊榮 (諸工芸)▽入選 (七宝)高橋通子、(ガラス)鍋田尚男</p> <p>◇第29回日本煎茶工芸展 (木竹)▽日本煎茶工芸協会奨励賞 川嶋高、▽入選 渡邊榮</p> <p>◇第67回三軌展 ▽(絵画部) 文部科学大臣賞 遠藤啓介 ▽(工芸部) 会員優賞 大沼みち子 ▽推挙(絵画部) 会員 遠藤啓介・会友 鈴木澄江、福井郁子</p> <p>◇第70回春の院展 (日本画)▽入選 三浦長悦</p>	<p>受贈書 () は寄贈者 すぐかけ第49集(すぐかけ短歌会)、自註現代俳句シリーズ11期 66 柏原眠雨集(柏原眠雨)、句集 遠蔵王(熊沢れい子)、詩集 *ゲノムの森(玉田尊英)、天の川 きたごち叢書第二十五輯(畑中次郎)、今野深泉作品集(今野深泉)、青空晴れて―広島原爆被災の巻―(高倉勝子)</p>	<p>謹 申 絵画部(洋画) 高橋武男殿 2月2日 守山明殿 4月12日 賛助会員 建部有玄殿 6月17日 書道部 長田桂一殿 6月27日 絵画部(洋画) 高倉勝子殿 7月3日 絵画部(日本画) 大友昭二殿 7月25日 絵画部(洋画)</p>
---	---	--